

平成28年度 鴨川市教育行政評価報告書

Ⅱ．生涯学習

【基本目標】市民一人ひとりの学びを支える生涯学習の振興

誰もがいつでも、どこでも学びたいときに学ぶことができ、その学びの成果を適切に生かせる社会が生涯学習の目指す姿です。このため、市民が家庭や地域での子どもの多様な体験学習をはじめ、生活を豊かにする学習活動・読書活動、趣味やスポーツなどに意欲的に取り組める生涯学習環境づくりを進め、自己実現を支援するとともに、地域コミュニティを育てていきます。図書館においては、多様化した市民ニーズに対応した事業展開を図るとともに、その担い手となる人材の育成に努めます。

Ⅱ－１．多彩な学習活動の促進

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 公民館事業の充実 ①市民同士がお互いに尊重しあい、教えあい、学びあう生涯学習活動の充実 (2) 市内に関係施設のある大学との連携 ①大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実 (3) 市民が学びやすい環境づくり ①地域学習・ボランティア活動の支援 (4) 青少年海外派遣の推進 ①国際的感覚の豊かな人間育成
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進 【実施状況】 ・健康志向の高まりを受け、ハイキングや健康体操等のほか、文化・芸術や趣味をとおした仲間づくりにつながる公民館教室を実施。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 【成果と課題】 ◎市内全 11 館において計 310 回の公民館主催事業を開催、延べ 8,249 人が受講し、受講者が満足する多彩な講座が開催できた。 ◎市内に施設を有する 5 大学と 9 つの事業で連携し計 633 人が参加、アンケートにおいて好評を得られた。 ◎文化施設ボランティアを様々なイベント等に活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野の登録があった。 ◆公民館利用者の声を聴き、幅広い年齢を対象とした更に魅力のある講座作りに取り組む必要がある。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう内容を見極めながら、時代に即した事業を実施していく必要がある。 ◆事業が継続できるよう、ボランティアの募集を引き続き行う。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進

	【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

Ⅱ－２．社会教育関連施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 社会教育関連施設の整備 ①施設の計画的な改修と更新
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・ 公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 【実施状況】 ・ 吉尾公民館の耐震診断の実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：5 館 (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾) 耐震補強工事実施公民館：中央 (H27) ◆一部耐震基準を満たしていない主基、吉尾の耐震補強工事の検討
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・ 公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 ・ 老朽化した公民館の施設設備の修繕 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】

平成 32 年度	《 重点取組 》
	【実施状況】
	【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

Ⅱ－３．読書・学習環境の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 図書資料の整備・充実 ①親しみやすい図書館環境づくり ②資料の充実 (2) 図書館施設の整備 ①施設・設備の改修 ②公民館図書館分室の機能強化 (3) 子どもの読書活動や習慣づけの推進 ①子どもの読書活動の推進 ②読書習慣づけの推進 ③学校教育と図書館の連携による読書活動の推進 (4) 生涯型読書活動の推進 ①鴨川市生涯読書推進計画に基づく読書活動推進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・親しみやすく、見やすい書架への工夫と改善 ・小学校図書室への図書配本事業の実施 ・大活字本や朗読 CD の充実 【実施状況】 ・季節に合わせたテーマによる図書を展示ケースにて紹介する工夫と、著者名の表示を増やし見やすい書架への改善に努めた。 ・小湊小へ 100 冊、東条小へ 200 冊「図書館からおすすめの本」を配本すると共に、図書館職員による読み聞かせやブックトーク、図書室整備のアドバイス等を実施。 ・大活字本や朗読 CD を購入し、紹介するコーナーを設置。また、公民館図書館分室で大活字本のリストを掲示し周知に努めた。 【成果と課題】 ◎親しみやすく、見やすい書架の工夫・改善をした結果、図書の貸出が昨年度より約 1000 冊増加した。 ◎配本を実施した小学校で、本を読む児童が増加した。 ◎様々なジャンルの大活字本を多く収集した事により、幅広い世代の方に利用されるようになった。 ◆配架の工夫、展示スペースの確保 ◆小学校への図書配本や読書活動支援ため、図書館職員のスキルアップが必要 ◆大活字本が高額である。また、配架する書架スペースが必要

平成 29 年度	《 重点取組 》 ・ 図書館空調設備更新工事の実施 ・ 小学校への図書配本事業の拡大 ・ 市内各公民館での予約本受取サービスの検討 ・ 読み聞かせ等の子どもの読書活動の推進
	【実施状況】
	【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》
	【実施状況】
	【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》
	【実施状況】
	【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》
	【実施状況】
	【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

Ⅲ. 青少年の健全育成

【基本目標】子どもたちの自立を支援する体制整備

次代を担う青少年が、自らの能力や個性を十分に発揮して自立するとともに、地域の担い手として活躍できるように、学校、家庭、地域、関係機関等が連携しながら、子どもたちの自立を支援する仕組みづくりを推進します。あわせて青少年がさまざまな体験・交流活動、社会活動等に参加する機会を拡充するとともに、地域活動の活発化や指導者の育成に努めます。

Ⅲ－１. 啓発活動の推進

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 青少年の健全育成に関する啓発の推進 ①体制の整備 ②学校・家庭・地域への啓発
平成28年度	《 重点取組 》 ・保護者、地域住民、青少年指導者等と連携した啓発の推進 【実施状況】 ・青少年指導者研修会（11月）を開催し、『インターネットトラブルの現状と対策』に関する講演会を実施 ・青少年健全育成推進大会（11月）を開催し、小中高生による青少年健全育成に関する標語等を発表 【成果と課題】 ◎青少年指導者研修会では千葉県警情報セキュリティアドバイザーによる講演会を実施し、現代の大きな問題であるインターネットトラブルについての周知を図った。 ◎青少年健全育成推進大会では、小中高生等から青少年健全育成に関する標語及び作文を募集（応募数：標語813作品、作文377作品）することにより、青少年問題に対する関心を高めることができた。 ◆講師謝礼に伴う予算（平成28年度30,000円）に限りがあるため、講師選定作業が困難である。 ◆各団体に属していない市民の参加者が少ないため、幅広い啓発活動に繋がらない。
平成29年度	《 重点取組 》 ・保護者、地域住民、青少年指導者等と連携した啓発の継続 【実施状況】 【成果と課題】
平成30年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成31年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成32年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成28年度	・ ・
平成29年度	
平成30年度	
平成31年度	
平成32年度	

Ⅲ－２．青少年育成団体の活動の活性化及び地域との連携強化

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(１) 青少年育成団体の活動の活性化 ①青少年育成団体活動の充実 ②多様な体験活動を通じた青少年健全育成 (２) 青少年育成団体と地域の連携強化 ①青少年相談員活動の充実 ②非行防止活動の推進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・放課後子ども教室（土曜スクール）の推進 ・非行防止活動の推進 【実施状況】 ・土曜スクール（６スクール）の推進及び未実施小学校区の開校に向けた体制づくり ・青少年育成鴨川市民会議と鴨川警察署が連携した非行防止パトロールの実施 【成果と課題】 ◎土曜スクール開催実績（各スクール年間 22 回開催。6 スクール合計 延べ 1,918 名の児童が参加） ◎未実施小学校区のうち東条小学校区において開校に向けて動き始めた。 ◎非行防止パトロールを年間 7 回行い、非行抑止効果を高めることができた。 ◆鴨川小学校区における土曜スクール開校に向けた取組。 ◆運営基盤が弱体化傾向にある土曜スクールに対する更なる助成。 ◆効果的なパトロール方法の検討
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・鴨川小学校区における土曜スクール開校に向けた取組 ・効果的なパトロール方法の検討 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・
平成 29 年度	・
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

IV. 文化振興

【基本目標】鴨川ならではの伝統文化・芸術の活用

市民一人ひとりがふるさとの文化や歴史、芸術を理解し、郷土愛と誇りを持って、心豊かな生活を送ることができるよう、鴨川市の貴重な文化財の保護・保全に努め、市民の文化芸術活動を支援するとともに、多様な文化・芸術に接する機会や活動成果の発表の場の拡充を図ります。文化芸術活動の拠点となる新たな市民ギャラリーの整備、また多目的施設の活用を図るとともに、潜在的な文化資源の掘り起こしに努め、文化・芸術活動への市民の参加を促進します。

IV-1. 文化・芸術の振興

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 文化・芸術の振興 ①文化団体の活動促進 ②鑑賞機会の充実
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・鴨川市文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 【実施状況】 ・文化協会の活動支援として補助金 70,000 円を交付し、また各部門からの相談への対応。 ・「ルノワール展鑑賞ツアー 事前学習会」（6 月 18 日）、「ルノワール展鑑賞ツアー」（6 月 23 日）、「ゴッホとゴーギャン展鑑賞ツアー」（11 月 29 日）の開催。 ・「堅山南風素描展」（9 月）、「江戸の狂歌摺物 北斎と俊満」（11～12 月）、「横山大観 霊峰―特別公開―」（1 月）の開催。 【成果と課題】 ◎鴨川市文化協会には 11 部門 250 名の会員が加入し、年間延べ 2,293 名が活動。日頃からの活動の成果を鴨川市文化祭で発表。1,324 名が来場し、多くの市民が様々な分野の文化活動に触れることができた。 ◎本格的な美術展を鑑賞する機会を市民に提供し、2 回のツアーに合計 81 名、事前学習会に 16 名が参加。初めて美術展を鑑賞する市民を含め、幅広い層の方々に芸術鑑賞の機会を提供し、好評を得られた。 ◎本市所蔵品の展示公開を通して、貴重な資料類の鑑賞機会を提供し、鴨川市における文化芸術を広く知らしめることができた。三つの企画展で合計 3,785 名の入館者（市内 1,819 名、市外 1,966 名）を記録。また企画展入館者に実施したアンケート結果として、展示内容が「よい」との回答が平均 85%を記録。 ◆高齢化に伴う協会員数の減少 ◆ツアー参加希望者の大幅増に対する対応の検討 ◆新しい分野を含めた開催テーマの設定と展示内容の検討
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・文化協会の活動支援 ・アート鑑賞ツアーの開催 ・市所蔵作品、所蔵資料の展示公開 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】

平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

Ⅳ－２．文化施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 文化活動の拠点施設の整備・活用 ①市民ギャラリーの整備 ②多目的施設の完成後の活用
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・ 市民ギャラリー及び曽呂公民館の旧曽呂小学校校舎への移転 【実施状況】 ・ 老朽化した市民ギャラリー及び曽呂公民館の機能を旧曽呂小学校校舎へ移転するために、文化施設運営協議会を 4 回開催し、計画の策定に取り組んだ。 【成果と課題】 ◎専門的な見地から各委員の意見を徴し、アートを中心に据えた地域の交流の拠点となる施設整備に関する基本計画の骨子をまとめた。 ◆平成 28 年度の検討の結果に基づく、基本計画の策定
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・ 市民ギャラリー及び曽呂公民館の旧曽呂小学校校舎への移転 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・
----------	---

平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

Ⅳ－３．歴史・文化の保全と活用

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 指定文化財保護活動の支援と適正保護の推進 ①文化財等の実態調査 ②文化財保護活動への支援 (2) 市史の編さん、史・資料調査と保存・活用 ①市史編さんの継承 ②史・資料の保存と活用 (3) 地域の歴史・文化資源の周知と有効活用 ①地域の歴史・文化の理解促進
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・文化財等の保護管理に向けた調査 ・市史編さん事業の継続と活用の推進 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 ・「誕生寺祖師堂」を市の文化財に指定することを目的として、建築の専門家である市及び県文化財審議委員による現地調査を2回実施。 ・市史編さん委員会の開催（6、12、2月）とあゆみシリーズ他発刊物の頒布 ・「新収蔵コレクション～初めてのおひろめ」（7～9月）、「3Dデータで観る伊八と義光」（2～3月）の開催、年間を通した市内外での講座等による、本市の歴史と文化の周知 【成果と課題】 ◎「誕生寺祖師堂」の文化財的な価値に関する、専門的な見地からの所見を得ることができた。その結果、指定への手続きを進めるための見通しを立てることができた。 ◎鴨川市史やあゆみシリーズなど85冊を頒布することで、市内外に鴨川市の歴史や文化を広く知らしめることができた。 ◎特別展、企画展の入館者1,083名、講座受講者1,375名を対象に、本市の歴史と文化に関する理解を促した。 ◆市の文化財に指定する他の候補に関する調査推進 ◆あゆみシリーズ発刊完了後の市史編さん事業継続の方向性 ◆展覧会及び講座の魅力ある内容の更なる充実
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・文化財等の保護管理に向けた調査 ・市史編さん事業の継続と活用の推進 ・展覧会や各種講座の開催による歴史・文化の理解促進 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》

	【実施状況】 【成果と課題】
【 5年間を総括した成果と課題 】	
■ 外部評価 ■	
平成 28 年度	
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

VI. 家庭と地域の教育力向上

【基本目標】誰もが安心して学べるまちづくりの推進

核家族化や都市化の影響などにより、子どもと家庭を支える環境が変化しており、地域のつながりや支えあいの力が再認識されています。このため、教育の原点として家庭の教育力を高めるよう支援するとともに、地域住民のつながりや支えあいによる地域コミュニティの形成や、学校、家庭、地域、関係機関等との力強い連携により、誰もが安心して学ぶことができ、その取組が人づくり・地域づくりに生かせる環境づくりを進め、市民の学びを支援していきます。

VI-1. 子育て家庭の育ち支援

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 基本的な生活習慣と望ましい規範意識の育成 ①挨拶運動の奨励 ②基本的な生活習慣の確立と早寝早起き、朝食習慣の確立 (2) 親とともに考える教育の推進 ①親の主体性を重視した学びのプログラム (3) 学校における子育て支援 ①子どもを伸ばし自信をつけさせる家庭教育の推進 ②家庭での教育の目標設定
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・小中一貫教育を推進する中で、挨拶の奨励と生活リズムの確立を図る。 【実施状況】 ・小中一貫コーディネーターを中心に、中学校区ごとに現状と課題を把握しながら挨拶の習慣化に向けた取組を実施した。 ・市内全小中学校において、望ましい生活習慣と食習慣についての指導内容を年間指導計画に位置づけ、改善に向けた取組を実施した。 【成果と課題】 ◎アンケート調査から、進んで挨拶していると回答した児童生徒が約 9 割いる。地域からも児童生徒の「挨拶がよい」との声も聞かれた。 ◎養護教諭部会が中心となって「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化に取り組んだ結果、地域（中学校区）格差がなくなり、8 割以上の児童生徒が毎朝朝食をとるようになった。 ◆家庭や地域、関係機関との更なる連携と個別の指導や支援の充実。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・各中学校区を中心に、小中一貫教育を推進する中で、望ましい生活習慣の確立を図る。 ・各関係機関との連携を図り、家庭教育支援の充実に向けた取組を強化する。 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

VI-2. 親が育つ環境づくり

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 家庭教育の支援 ① P T A 活動などの促進 (2) 保護者活動の支援 ① 保護者研修機会の充実 ② 家庭教育相談や家庭教育指導員の活用
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・ 保護者の育ちを応援する研修機会の充実 【実施状況】 ・ 子育て学習や親子のふれあいを学ぶ場として「家庭教育学級」を市内全幼稚園で実施。 ・ 家庭教育学級の取組を他の年齢層にも広げ、地域を挙げて家庭教育を推進していくために、民間・地域と連携し「家庭教育講演会」を実施。 (共催：オーシャンズ若潮明社) 【成果と課題】 ◎「家庭教育学級」は、市内全幼稚園 8 園で延べ 16 回開催。アンケートには「親子のふれあいや子育ての気づき、また保護者の交流の場になった」との結果。 ◎「家庭教育講演会」は、子育て孫育て世代から教育関係者の 131 名参加。 アンケートには「子育ての貴重なヒントが得られた」等の好評価を得た。 ◆家庭教育講演会には、現役子育て世代は忙しく参加割合が少ない状況であるため、子どもイベントに同伴の保護者を狙った開催企画とする。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・ 保護者の育ちを応援する研修機会の充実 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

VI-3. 学びのセーフティネットの構築

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 子どもや家庭に対する相談支援 ①学校内の相談体制の充実 ②相談支援にあたる連携体制の構築 (2) 経済的困難者の助成・支援 ①経済的支援の充実 ②障害のある子どもや家庭への支援 (3) 子どもの人権擁護と安全の確保 ①児童虐待の防止
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・早期発見早期対応ができる「鴨川市相談ネットワークの構築」 ・「新入学児童生徒学用品費等」の前倒し支給の検討 【実施状況】 ・「子育てをしている皆さんへ」や教育相談・就学相談の申込文書等の作成 ・市長部局内の相談窓口が協同して相談支援に当たるよう推進した。 ・市就学援助費支給規則の一部を改正し、学校への説明他、保護者への周知等を実施 【成果と課題】 ◎早期に対応できる相談ネットワークが構築でき実際に活動することができた。 ◎中学校入学者について、小学校 6 年生時の 2 月頃に支給できるよう、規則を改正し、学校、保護者への周知を図った。 ◆構築した相談ネットワークの継続と充実 ◆小学校入学者についても中学校入学者同様に検討したが、学校教育法第 19 条の学齢児童の解釈から前倒し支給を実施せず、今後の検討課題として残った。
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・子どもファイルの活用による相談窓口の開示と相談の充実 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 32 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
【 5 年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	

VI-4. 安心・安全な学びの場づくり

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 安全教育の推進 ①防災教育の充実 ②交通安全教育の充実 (2) 安全な教育環境づくり ①通学の安全対策 ②防犯対策
平成 28 年度	《 重点取組 》 ・津波避難訓練や学校の実状に応じたワンポイント避難訓練を実施することで、防災意識の高揚を図る。 ・登下校時の交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、道路交通環境の改善に向けた取り組みを行う。 【実施状況】 ・関係機関と連携した鴨川市津波避難訓練を実施（安房東中学校区は在宅時訓練を実施） ・緊急地震速報を活用したワンポイント避難訓練を実施（各学校） ・文科省委託事業「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」を実施（小湊小） ・関係機関と連携し通学路安全会議を実施 ・市内小中学校通学路の危険箇所を関係機関と連携して合同点検を実施 ・横断旗の設置（2か所） 【成果と課題】 ◎多様な訓練を計画的・継続的に実施することで、防災意識の向上を図ることができた。 ◎通学路安全会議を実施したことにより関係機関との連携体制を構築することができた。 ◆発達段階に応じた体系的、継続的な防災教育の実施 ◆通学路のより安全確保に向けた条件整備の実施
平成 29 年度	《 重点取組 》 ・多様な訓練を継続的かつ計画的に実施し、自助及び共助の精神を育成する。 ・文科省委託事業「災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」を活用することにより、災害時に自分で考え、判断・行動できる力を育成する。（江見小） ・警察署や交通安全協会、自動車教習所の協力を得て、児童生徒の実態に即した安全教室を実施し関心を高める。 ・自転車保険加入の促進 （千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例【平成29年4月施行】） 【実施状況】 【成果と課題】
平成 30 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】
平成 31 年度	《 重点取組 》 【実施状況】 【成果と課題】

平成 32 年度	《 重点取組 》
	【実施状況】
	【成果と課題】
【 5年間を総括した成果と課題 】	

■ 外部評価 ■

平成 28 年度	・ ・ ・
平成 29 年度	
平成 30 年度	
平成 31 年度	
平成 32 年度	